

取付調整説明書

MS型直読自動液面計 RT-100型



SKK



信頼と技術で未来へ

昭和機器工業株式会社

目 次

	(ページ)
1. はじめに.....	1
2. 機器の外観.....	2
3. 機器の取付け.....	3
4. 量の調整方法.....	6
5. サービスネットワーク.....	7

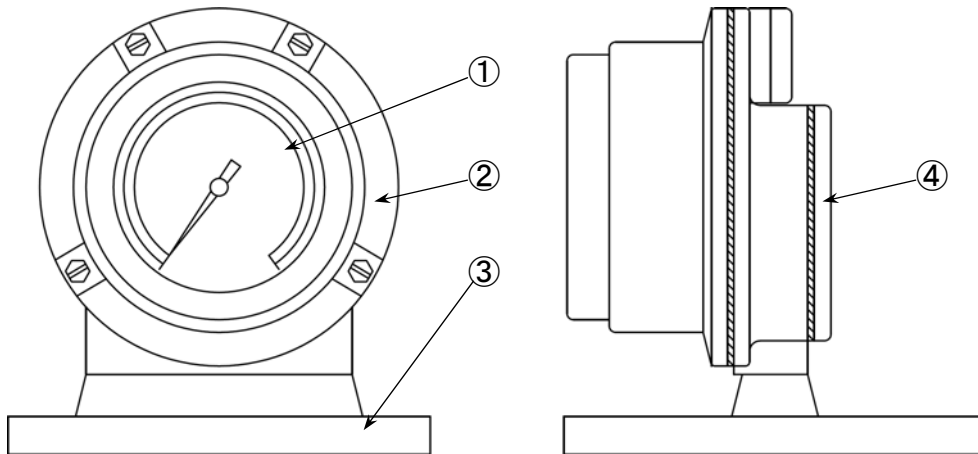
1. はじめに

このたびは「MS型直読自動液面計 RT-100型」をご購入頂きまして、誠に有難うございます。

- 本製品は、厳密な品質検査の後出荷され、納入先ごとのデータを当社にて記録保存しておりますので、安心してご使用頂けます。
日常の在庫管理の合理化、省力化に本製品を是非お役立てください。
- この「取付調整説明書」および別添の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- ご不明な点は最寄りの当社支店・営業所(7ページ参照)へお問い合わせください。

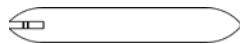
2. 機器の外観

■ 外観

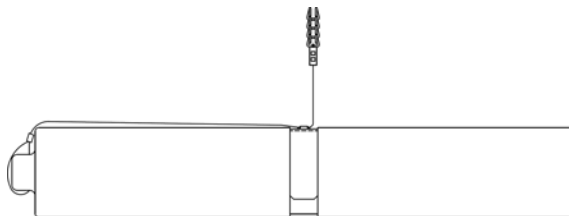


- ① 指示メーター
- ② ケース
- ③ 本体
- ④ チェーンギアボックス蓋

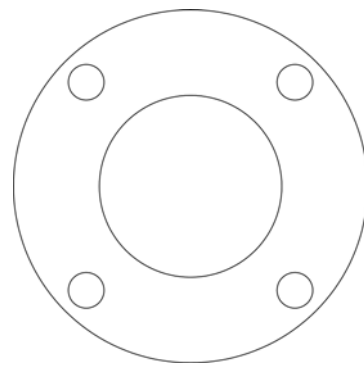
■ 付属品



フンドー



フロート



フランジパッキン



チェーン

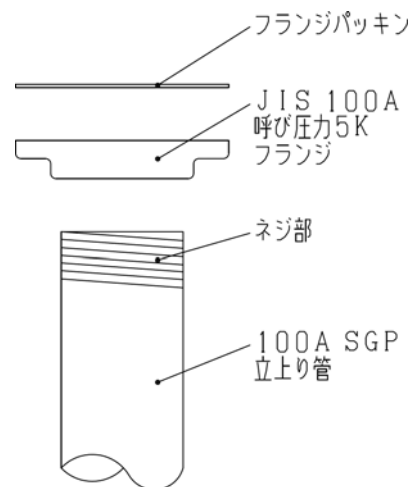
その他：フランジボルト、ナット 4SET

3. 機器の取付け

■ 取付方法

(1) フランジを取付ける。

ねじ込み部分から入水等が発生しないよう、液面計取付立上り管(100A)のネジ部にシールテープ等の配管シーリング剤を十分に施した後に、JIS100A 呼び圧力5Kフランジをしっかりとねじ込んでください。

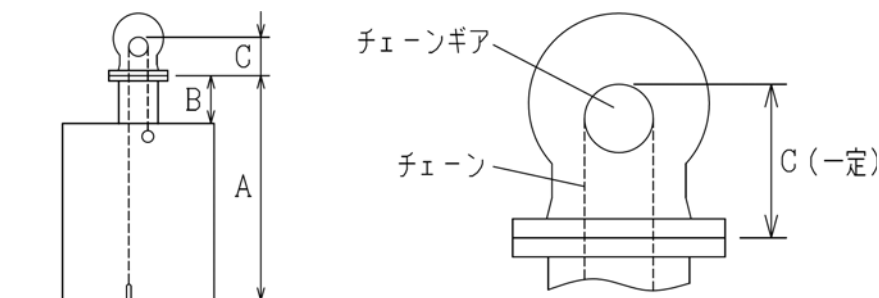


(2) フランジパッキンをセットする。

フランジの上に付属のフランジパッキンを敷いてください。

(3) チェーンの長さを決める。

$$A+B+C(17\text{cm})=\text{チェーンの長さ}$$



※ タンクの形状に関係なく上記の方法で算出します。

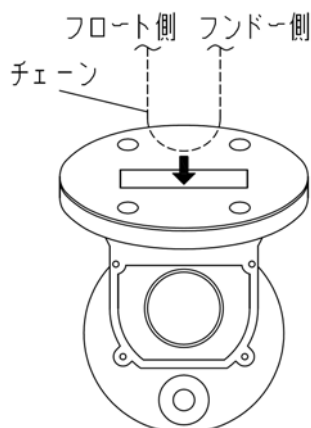
ご注文時に、タンク高さおよび液面計取付立上り管寸法(B)のご指示があれば、チェーンの長さを決めフロートとフンドーをセットした状態で納入いたします。

(4) チェーンギアボックス蓋を外す。

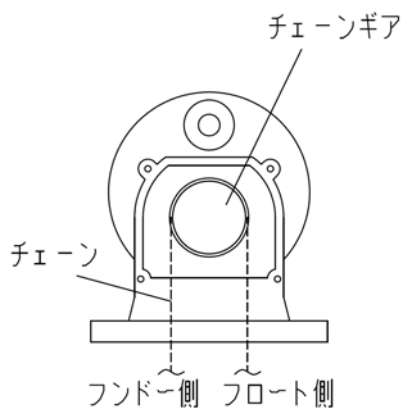
液面計背面のチェーンギアボックス蓋のボルト(4本)をゆるめて外してください。

(5) チェーンを液面計本体のチェーンギアへ掛けて、フロートとフンドーを取付ける。

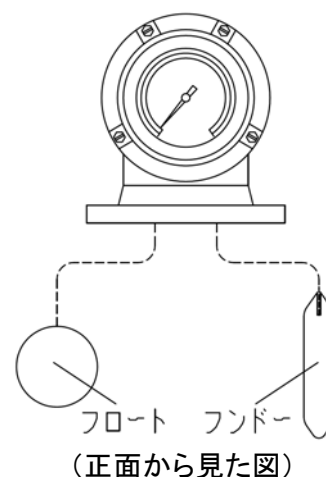
①液面計本体底面よりチェーンを挿入する。



②チェーンをチェーンギアに掛ける。



③チェーンの両側にフロートとフンドーを取付ける。



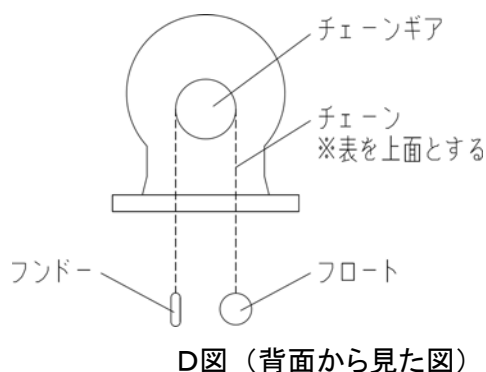
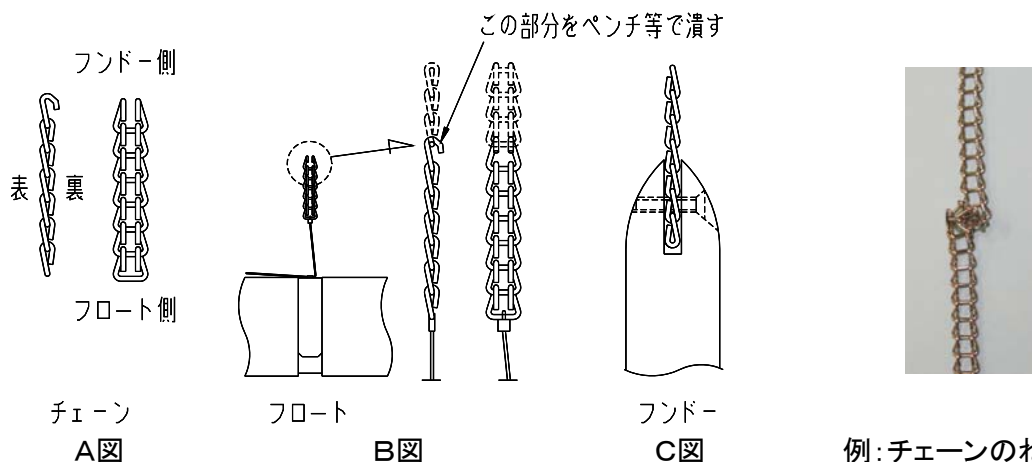
※ チェーンには方向があります。次ページを参考にしながら挿入してください。

(背面から見た図)

(正面から見た図)

◆ チェーンにはフロート側とフンドー側がありますので A図 を参照の上、液面計本体にチェーンを通した後、本体チェーンギアに向かって右側へフロート、左側へフンドーを取付けてください (B図、C図、D図参照)。

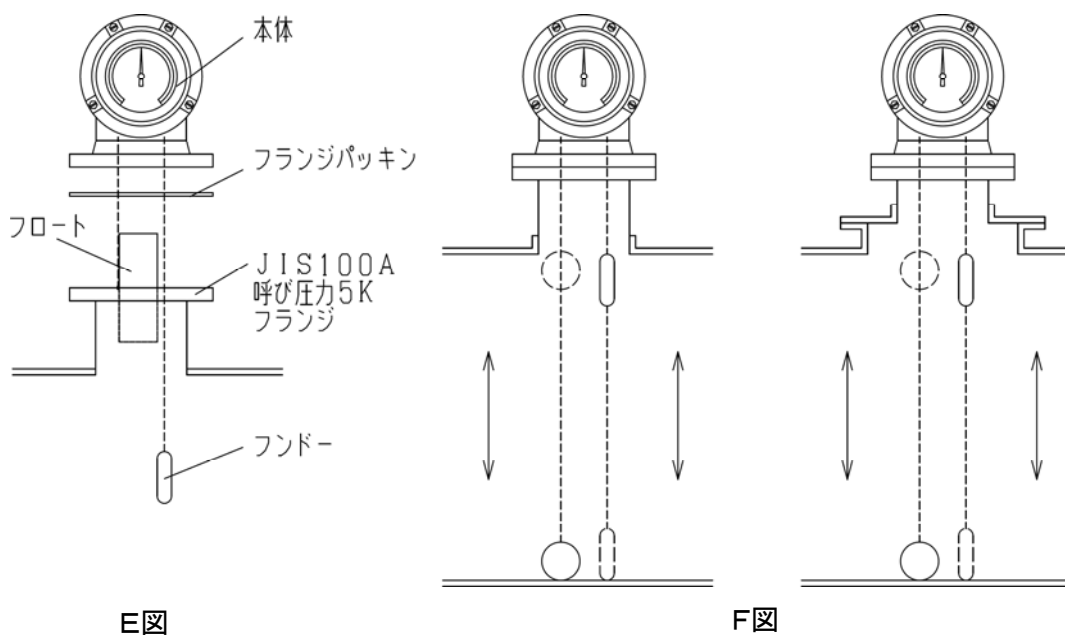
※ 取付けの際は、チェーンのねじれがないことを必ず確認してください。チェーンがねじれた状態では引っ掛かりやギアからの脱落等の原因となります。



(6) 立上り管へフロートとフンドーを挿入し液面計本体を取付ける。

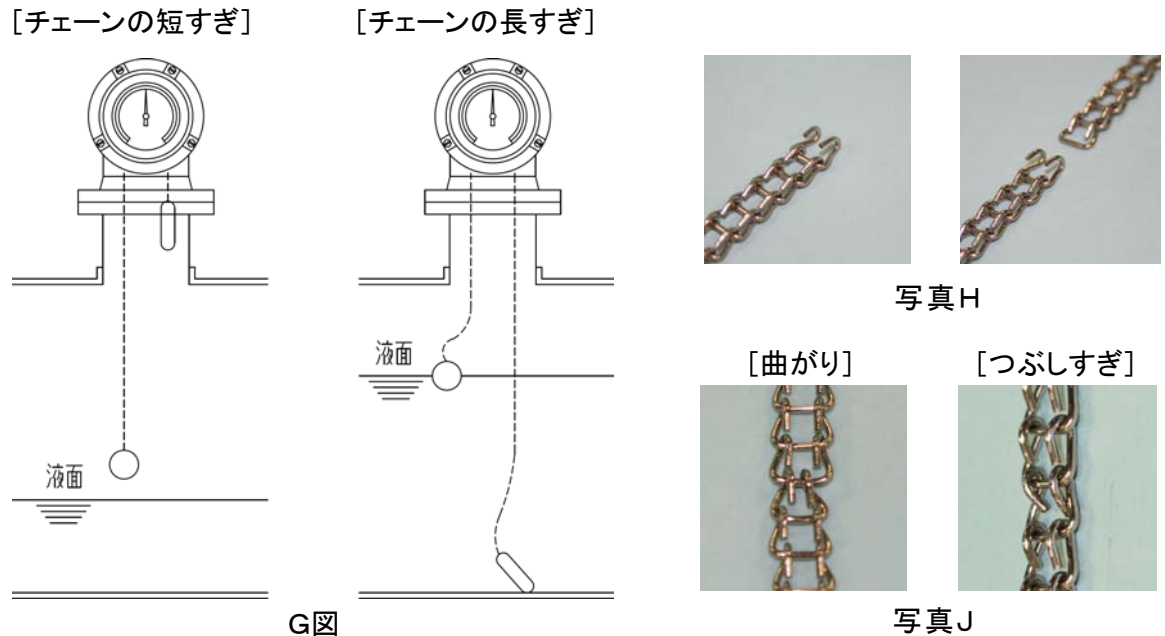
① 液面計本体へフロート、チェーン、フンドーの組込みが完了しましたら、立上り管へフンドーから先に挿入し、次にフロートを立てて静かに挿入してください (E図参照)。

この時もチェーンにねじれがないように充分注意の上、作業を行ってください。



- ② タンクが空の状態の場合、チェーンを掛けたままチェーンギアを静かに廻して、フロートとフンドーを上下させ F図 のように正常な位置で作動するか確認してください。
- ③ タンクに油が入っている場合、フロートをタンク上部に当たるまで引き上げた状態でフンドーがタンク底部にあたっているか確認してください。

◆ 立上り配管寸法が変更になった場合(チェーンの長さが適正でない時)。



チェーンの長さが適正でない場合は正常に動作しないため在庫不足やオーバーフローの原因となります。下記の要領で再調整を行ってください。

なお、ご注文時に液面計取付立上り管寸法等のご連絡を頂き、チェーンにフロートとフンドーをセットして納入している場合は、予備として約1mのチェーンを同梱しております。

① 立上り配管が長くなった場合。

長くなった分の 2 倍の長さのチェーン、または3. (2)項で測定した長さになるチェーンを継ぎ足してください。写真H のようにフンドー側チェーンの曲がり部分をペンチ等で広げて、フロート側のチェーンに掛けます。広げたところを元に戻します。

この時、写真J のようにチェーンが曲がったり、つぶしすぎた場合はチェーンギアに掛からなくなり正常に動作しませんので充分注意の上、作業を行ってください。

② 立上り配管が短くなった場合。

短くなった分の 2 倍の長さのチェーンを切り取って、フロートとフンドーをセットしてください。

(7) フランジボルトを締付ける。

フロートとフンドーが正常に作動すること、チェーンにねじれのないことが確認できましたら付属のフランジボルトとナットで液面計本体とフランジを固定してください。

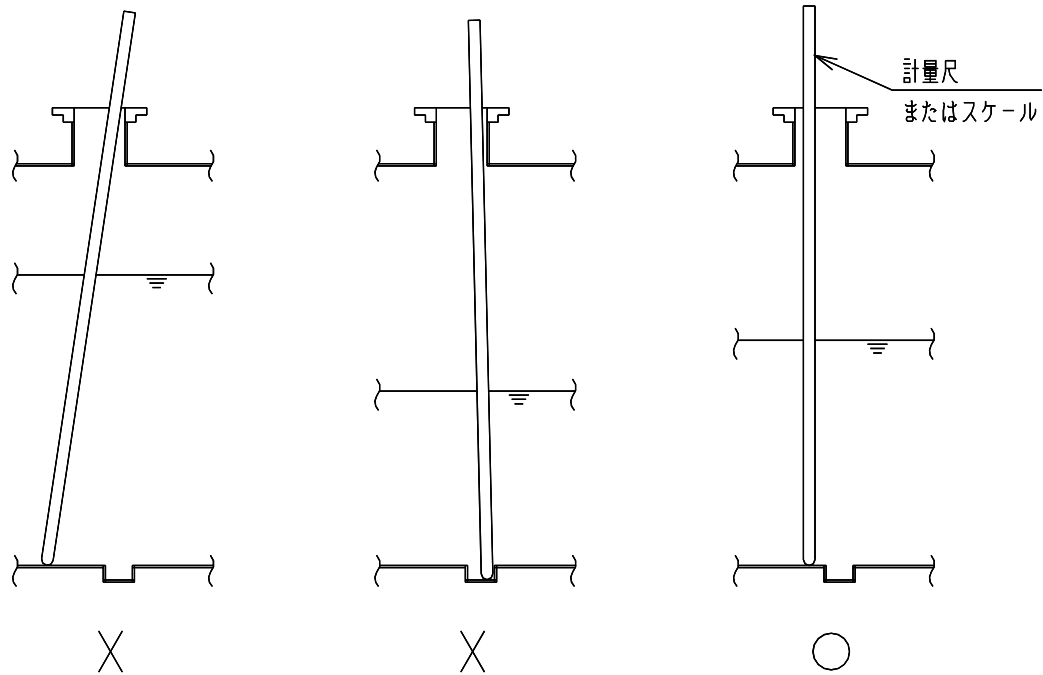
※ ボルトは片締めにならないように交互に締付けてください。

4. 量の調整方法

- (1) 現在のタンク在庫量を確認してください。

タンクが空(新設等)の状態から油を指定量(例えば6KL)入れている場合は、(2)項以下で調整を行ってください。

タンク内に既に油が入っている場合には、下図を参考に計量尺にて現在庫量を確認するか、あるいは液面の高さ(深さ)を測定して、タンクの容量計算書より現在庫量を算出してください。



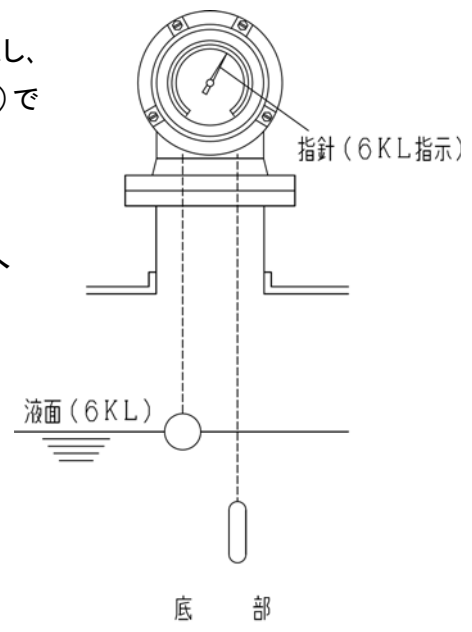
- (2) チェーンギアよりチェーンを外し、指示メーターを見ながらチェーンギアを廻し現在庫量に合わせてください。

フロートを液面に浮かせた状態でフロート側のチェーンを張りながらチェーンギアに掛けます。ここで指示メーターの量に“ズレ”が生じた場合は、再び同じ作業を繰返し行って現在庫量に合わせてください。

- (3) 指示メーターの指示量が現在庫量と一致しているのを確認し、正しければチェーンギアボックス蓋をかぶせてボルト(4本)で充分に締付けてください。

- (4) 以上で全ての取付作業が完了しました。

※ ご不明な点は最寄りの当社支店・営業所(7ページ参照)へお問い合わせください。



5. サービスネットワーク

東京営業本部	〒152-0002	東京都目黒区目黒本町 2 丁目 9-5 TEL (03)3716-5777(代) FAX (03)3716-2384
本社	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前 4 丁目 33-32 TEL (092)431-5131(代) FAX (092)431-3851
東京支店	〒152-0002	東京都目黒区目黒本町 2 丁目 9-5 TEL (03)3716-2391 FAX (03)3716-2384
横浜営業所	〒246-0031	横浜市瀬谷区瀬谷 4 丁目 19-5 TEL (045)301-9557 FAX (045)301-9558
大宮営業所	〒331-0811	さいたま市北区吉野町 2 丁目 192-5 TEL (048)663-9775 FAX (048)663-9758
名古屋支店	〒453-0056	名古屋市中村区砂田町 3 丁目 18 TEL (052)411-7782 FAX (052)411-7791
大阪支店	〒532-0003	大阪市淀川区宮原 1 丁目 4-20 TEL (06)6399-0515 FAX (06)6399-0516
札幌営業所	〒003-0002	札幌市白石区東札幌二条 3 丁目 2-39 TEL (011)812-9528 FAX (011)812-9529
青森営業所	〒030-0853	青森市金沢 3 丁目 8-40 TEL (017)735-5222 FAX (022)239-6627
仙台営業所	〒983-0043	仙台市宮城野区萩野町 1 丁目 12-4 TEL (022)239-6626 FAX (022)239-6627
金沢営業所	〒921-8016	金沢市東力町二 201 TEL (076)292-1612 FAX (076)292-1621
岡山営業所	〒700-0964	岡山市北区中仙道 1 丁目 1-31 TEL (086)243-3255 FAX (086)245-1232
広島営業所	〒733-0003	広島市西区三篠町 2 丁目 3-22 TEL (082)237-9231 FAX (082)237-9244
高松営業所	〒760-0008	高松市中野町 27-14 TEL (087)834-7555 FAX (087)834-7562
松山営業所	〒790-0932	松山市東石井 6 丁目 2-1 TEL (089)958-9261 FAX (089)958-9261
福岡支店	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前 4 丁目 33-32 TEL (092)431-1000 FAX (092)431-3851
熊本営業所	〒861-8038	熊本市長嶺東 1 丁目 2-20 TEL (096)389-8010 FAX (096)389-8012
鹿児島営業所	〒890-0063	鹿児島市鴨池 1 丁目 18-1 TEL (099)252-5861 FAX (099)252-5732
沖縄営業所	〒901-2127	沖縄県浦添市屋富祖 2 丁目 3-1 TEL (098)878-6068 FAX (099)252-5732

[SKKホームページ] <http://www.showa-kiki.co.jp>